



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No. 20

2013.11.27 (No.2758)

第2560地区ガバナー／山崎 堅 輔
 会 長／丸山 行 彦
 会長エレクト／高橋 司 (クラブ奉仕A)
 副 会 長／五十嵐 晋三 (クラブ奉仕B)
 幹 事／船越 正 夫
 S A A／野崎喜一郎
 会 計／若槻八十彦

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

- 本日の出席会員数:56名中40名
- 先々週出席率:90.74%

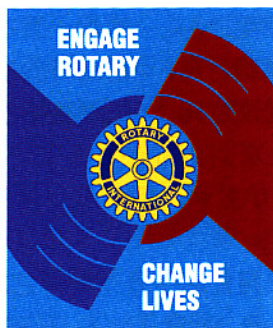
【ゲスト】

・三之町病院特任顧問&星空案内人
 村山宥一様

【先週のメイクアップ】

[11.21] 三條ローターアクトへ
 ・高橋 司さん

[11.26] 三條北RCへ
 ・中林順一さん、藤田紘一さん、
 ・小越憲泰さん、船越正夫さん、
 ・石橋育於さん、山田富義さん、
 ・阿部吉弘さん、加藤紋次郎さん
 (8名)



「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」
 2013～2014年度国際ロータリーのテーマ



会 長 挨拶

丸山行彦 会長



皆様こんにちは、ご挨拶申し上げます。
 まだみぞれや雪は降りませんが、時々冬
 らしい天気になり寒い時期になってきま
 した。

こうゆう時期になりますと私どもの業
 界では、ボージョレヌーボーの発売、そし
 てお歳暮と続いてまいります。ヌーボーを
 お飲みになった方も多いたと思いますが、私の呑んだ感じでは、
 例年以上に軽やかで飲み口の良い年だったと思います。ヌー
 ボーは新酒という意味で急速で発酵させ短期間でワインに仕
 上げるために、軽やかですが、コクのあるワインではありません。
 熟成させると品質が落ちます。前に1年経ったヌーボー
 を飲んだことがありましたが、とても飲めるものではありませんでした。

ヌーボーは毎年11月の第3木曜日が発売日と決まっておりますので今年
 は11月21日でした。日付の関係で世界の大消費
 国では日本が最初に飲めるということで日本では盛り上って
 いますが、ボージョレヌーボーの輸出の6割は日本向けとい
 うことで、全世界的にはそれほど関心を持たれているわけ
 ではありません。日本人は乗せられやすいのだと、この時期
 になりますとつくづく感じる次第です。

幹事報告

船越正夫 幹事

◎山崎ガバナー事務所より

「12月ロータリーレートのご案内」

12月1日より 1ドル = 100円 (現行)

◎三条RACより

「12月第一例会のご案内」

日 時 12月5日(木) 19:30～

会 場 リサーチコア 4階・異業種交流室

卓 話 「草野病院と県央救急システムについて」
三条南RC会長 草野恒輔 様

◎山崎ガバナー事務所より

「第4回 日台ロータリー親善会議のご案内」

日 時 2014年1月26日(日) 14:00～20:30

会 場 台湾(台北) 圓山大飯店

◎山崎ガバナー事務所より

「シドニー国際大会

パンフレット送付及び参加推進依頼」

◎次週 12月4日(水)の例会は「年次総会」です。

12月のお祝い



◎夫人誕生祝

1日 若槻由美子さん(八十彦さん)

5日 中村玲子さん(信一さん)

18日 萩根澤愛子さん(隆雄さん)

18日 菊池まゆみさん(涉さん)

19日 内山直美さん(晃さん)

20日 小林 幸さん(吾郎さん)

◎結婚記念祝

4日 渋谷健一さん(トヨさん)

9日 杉山幸英さん(敏子さん)

◎100%出席賞

7年 若槻八十彦さん

2年 関川 博さん

2年 吉井直樹さん

ニコニコBOX

丸山行彦さん

三之町病院特任顧問&星空案内人 村山宥一様、
卓話ありがとうございます。お話し楽しみです。

熊倉昌平さん

卓話の村山宥一先生を歓迎申し上げます。三条市
高等職業訓練校の講師として大変ご尽力下さいま
したこと感謝しております。

樺山 仁さん

先週のオリエンテーリングに多数の会員の出席、
ありがとうございました。

本日の村山様の卓話に期待して！

菊池 涉さん

11/21ボージョレヌーボー解禁日、喜んで出かけた
のですが、翌日が「人間ドック」、8時までに大
急ぎで飲み上げました。

吉井直樹さん

同窓会で東京へ行ってきました。モーターショー
が近くで行われており、周りには珍しい車がたく
さん走っていて、見るだけで楽しくなりました。

本日卓話宜しくお祈いします。

関川 博さん

ソン君に日本での思い出つくりとして、ゴルフを
教えました。初コースデビューにして、ショート
で1オンパーはとるし…。私が習おう。

村山様、卓話お願いします。

佐野勝榮さん

アイソン彗星は見頃時はいつでしょうか？今日の
卓話楽しみにしています。

渡辺勝利さん

旅行写真を沢山有難うございました。

若槻八十彦さん

忘れてました。すみません。

小林吾郎さん、 木村文夫さん、 中村信一さん、
米山智哉さん、 伊藤寛一さん、 歸山 肇さん、
五十嵐昭一さん、 渡辺良一さん、 高橋 司さん、
船越正夫さん、 杉山幸英さん、 松永一義さん、
会田二郎さん、 山田富義さん、 石橋育於さん、
小越憲泰さん、 大沼公成さん、 川瀬康裕さん

村山宥一様、本日は卓話ありがとうございます。
お話し楽しみにしております。

11月27日分 ￥ 27,000

今年度累計 ￥ 630,100

卓 話

アイソン彗星は明るい彗星になるか。

～子どもたちに星空を！～

三之町病院特任顧問（星空案内人）
村山宥一 様



1887年（明治20年）8月19日、わが国で初めて科学的な皆既日食の観測が行われました。場所は福島県や栃木県それに新潟県などでしたが、福島や栃木ではいず

れも天候がよくなく、観測は不成功に終わりました。

新潟県の観測隊は内務省地理局の荒井郁之助一行で、観測地はわが三条市（当時は東大崎村）の永明寺山（大崎山）でした。天候に恵まれた荒井観測隊は太陽の光焰（コロナ）写真を3枚撮影することに成功しました。これがわが国における皆既日食の科学的観測が成功した初めての例で、その場所こそわが三条市だということです。この事を三条の子どもたちに伝えるのが私の役割と考え、あわせて天文や宇宙に興味関心を持つ子どもたちの裾野が広がればよいなと思い、日々「星空案内人」として活動しています。

私は、もと、高等学校の理科の教員で電気や電子工学が好きなだけのごく平凡な物理教師でした。ところが45歳の時、教育職を解かれて行政職である県立自然科学館の「自然・天文課長」を命ぜられました。大きな天文現象（三条商業高校にいるときハレー彗星が近づいた）があると授業で話すことはあっても、天文学のことはほとんど素人です。理科全般のことはともかく、天文のことを中心業務とする「自然・天文課長」などやれないと思いました。しかし、そんなことを言えないのが宮仕えのつらいところです。業務の合間合間に勉強をしなければなりません。必要に迫られた勉強は身につくもので、部下の天文専門員には及ばないものの天文課長としての職務は何とかこなすことができるようになりました。自然科学館における4年間の経験は高校の物理教員だけでは味わえないものがあつたと思います。また、プラネタリウムや天文イベントを通した小中学生との交流の楽しさも知りました。小学生の可能性の大きさは高校生よりずっと勝っていることにも気がつきました。高等学校の現場に戻ったのは49歳で、あと10年もすれば定年を迎える年齢の時でした。その頃から定年後は自然科学館勤務時代の恩返しがあれば……と思うようになりました。

子どもたちを星空に案内して伝えていることは先ほどの他に次の四点あります。

- 1 天体は美しいこと
- 2 天体は生きていること
- 3 宇宙は広大なこと
- 4 今回のアイソン彗星がやって来るなど稀（まれ）な天文現象

天体は美しいこと

土星（写真1）を観察しているとき、あの神秘的で美しい姿に、ある小学生は「わっ！宇宙が見える」と思わず声を上げました。おそらく初めて土星を見たのでしょう。彼にとって土星は宇宙の象徴なのだと思います。

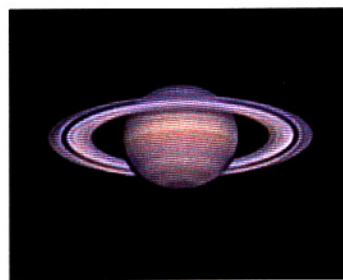


写真1



写真2

また、月（写真2）を望遠鏡で観察したとき、太陽光線を斜めから受けてくっきりと浮き上がる無数のクレーターは月面は大変美しいものです。欠けた月は満月以上に美しいと思います。子どもたちには自然現象や天体の美しさを伝えたいと思います。



「天上の宝石」という文字どおり美しい星もあります。そうです、暖かい季節の観測会（星空さんぽ）であれば毎回見ることのできる「はくちよう座」のアルビレオという二重星です（写真左）。

宮澤賢治は童話「銀河鉄道の夜」で、この二つの星を「輪になって回るサファイヤとトパーズ」になぞらえています。また、「アルビレックス新潟」のチーム名の由来になっている星ですから多くの方はご存じでしょう。当初のチーム名は「アルビレオ新潟」

といました。それが決まるとき、自然科学館の職員としてサッカー協会の役員さんにお手伝いできたことが私の自慢話の一つになっています。

天体は生きていること



写真4

冬の星座オリオンを観察すると、そこには星が誕生しているところや年老いて今にも寿命が尽きてしまいそうな星「ベテルギウス」を見ることができます。また、おうし座には人間でいえば生後七ヶ月ほどの赤ちゃん星「すばる」(写真4)があります。清少納言が「星はすばる、彦星、夕筒。よばい星、少しをかし。…」と枕草子の中で「星はすばるがいちばんよい」と記述したすばるです。

さらにヘルクレス座には数十万個の年寄り星の集団も見ることができます。このように個々の天体はそれぞれ生まれてからの年齢があって生きています。寿命が尽きた星の残骸さえもまた美しい天体として見ることができます。

宇宙は広大なこと

太陽系が家族だとすればわが国は銀河系になるでしょうか。そうすると隣の国は銀河系の隣の宇宙「アンドロメダ銀河」ということになります。空が暗いところではアンドロメダ座の中に肉眼でもボーと見えます。露出の時間をかけて写真を撮るとはっきり



写真5

しますがさらに望遠鏡を使い写真に撮ったものが写真5です。これは天体写真家の沼沢茂美さん撮影のものです。隣の国(隣の銀河)まで光の速度で進んだとしても約240万年かかります。逆の言い方をすると、今見えているアンドロメダ銀河は240万年前にアンドロメダ銀河を出発した光だということです。わが母親の「太陽」まで光速で8分ちょっと、弟の月まで1秒ちょっとですから、隣の国(宇宙)までいかに遠いか、宇宙はいかに広いか、子どもたちにこのことをダイナミックに伝えたいと思います。

今回のアイソン彗星がやって来るなど 稀(まれ)な天文現象

昨年5月、日本で金環食(三条市では部分日食)がありました。地球上では毎年どこかで日食がおきますが近いところではそうたびたびおきるものではありません(写真6)。



写真6



写真7

また昨年6月には太陽の前を金星が通過しました。この現象も一生に一度見ることができるかどうかの現象です(写真7 黒い点に見えるのが惑星の金星)。

このような稀にしかおきない天文現象は子どもたちにどうしても見せておきたいものです。そのことが切っ掛けとなって「天文学者になりたい」と夢をいだく子が出てきたり天文好きになった例があるからです。この2枚の写真は自宅前で私が撮影したものです。

日本時間11月29日にアイソン彗星が太陽の近く(近日点)を通ります。今年はじめの予想では「明るさは満月くらいで大彗星!」といわれましたが、この原稿を書いている11月25日現在、まだ肉眼で確認できるほ

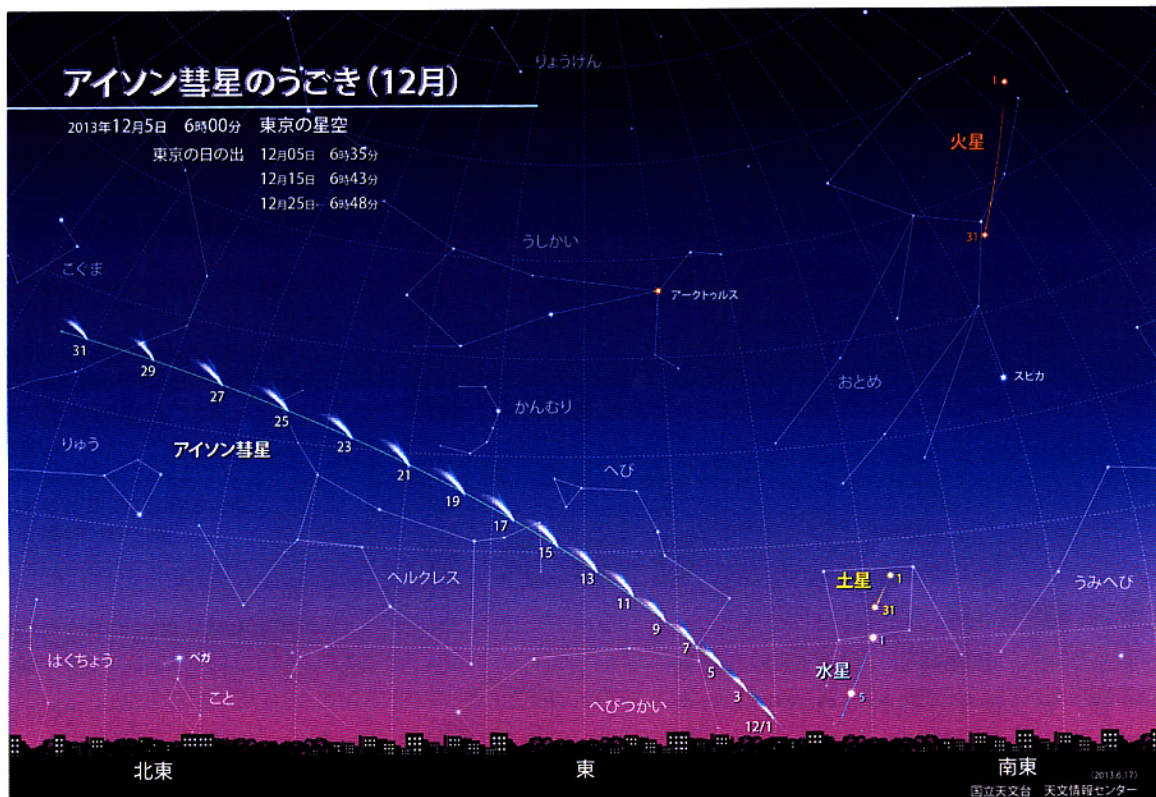


ど明るくありません。写真は知人が小千谷市山本高原展望台で11月17日の早朝に30秒間シャッターを開けたままにして撮ったものです。

アイソン彗星はその軌道は放物線ですからハレー彗星のように何年かごとに戻って来るといったことがありません。近日点を通過したら太陽からは遠ざかるばかりです。また、太陽のごく近くを通るのでそのときに分裂してしまうとか蒸発してしまうのでは

ないかとの話もあります。彗星の場合は日食などと違って予想ができません。「来てみなければわからない」というのが正直なところですよ。

はたしてアイソン彗星は1996年の百武彗星や1997年のハールボップ彗星のようなチョー明るい彗星になって私たちや子どもたちを楽しませてくれるでしょうか。



次週例会 12月11日 「会員卓話」 衛藤泰男 会員

次々週例会 12月18日 夜例会「ファミリークリスマスパーティー」
18:30～ 於 ジオ・ワールドVIP

